

# 平成 26 年度 意見交換会事例集

平成 27 年 3 月

やまぐち食の安心・安全推進協議会

## 目 次

趣旨	.....	1
意見交換会の種類	.....	1
意見交換会の開催の流れ	.....	2
平成 26年度の意見交換会（まとめ）	.....	5
平成 26年度の意見交換会（個別事例）	.....	7

## 趣旨

「やまぐち食の安心・安全推進協議会」は、「山口県食の安心・安全推進条例」に基づき、県、市町、食品関連事業者及び県民が連携して、食の安心・安全に向けた取組を展開していくことを目的に平成 21年 9月に設置されました。

平成 24年度から、食品のリスクを考える意見交換会を開催しており、今後の意見交換会の参考としていただくため、平成 26年度の意見交換会の開催状況(全 14回)を取りまとめた事例集を作成しました。

## 意見交換会の種類

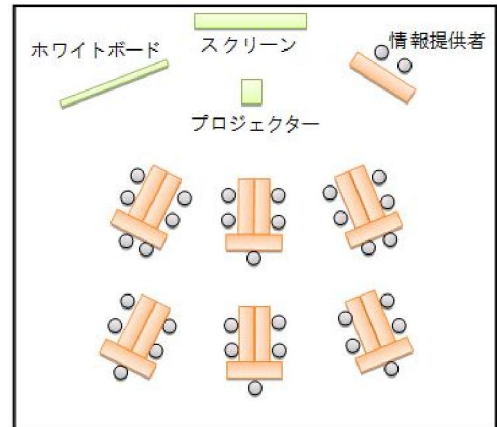
### 1 ワークショップ

参加者は情報提供を受けた後、グループ内で意見交換・討議を行い、その後、グループ発表、全体での意見交換を行い、知識・理解を深める。

(各グループに討議の進行役(ファシリテーター)を配置)

プログラム例(所要時間: 3時間 30分)

開始からの時間	内容
0:00	オリエンテーション・アイスブレイク
0:15	情報提供(50分程度)
1:05	グループワーク(60分程度) (グループ内で意見交換・討議し、グループの考えや質問を模造紙にまとめる。)
2:05	休憩
2:15	グループ発表(20分程度)
2:35	全体での意見交換(50分程度) (グループ発表の内容及び質問について、情報提供者が回答する。その後、追加質問があれば、参加者が自由に質問する。)
3:25	アンケート記入・閉会



会場配置例>

### アイスブレイク

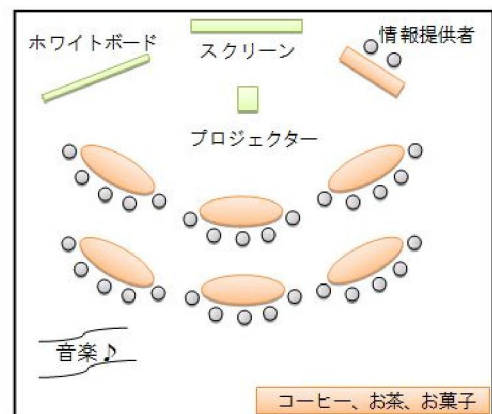
氷を溶かすように、参加者の緊張感を和らげて、話しやすい雰囲気を作るためなどに行うもので、ゲーム形式など様々な手法がある。

### 2 サイエンスカフェ

カフェのような気軽な雰囲気の中で、専門家などからなるべく専門用語を使わないで情報提供を行い、参加者は茶菓を喫食し、質問や意見を自由に出して、知識や視野を広げる。

プログラム例(所要時間: 2時間)

開始からの時間	内容
0:00	オリエンテーション
0:10	情報提供(45分程度)
0:55	質問カード記入・休憩
1:10	意見交換(45分程度) (最初に質問カードの内容について情報提供者が回答する。その後、追加質問があれば、参加者が自由に質問する。)
1:55	アンケート記入・閉会



会場配置例>

## 意見交換会の開催の流れ

### 事前準備

- 1 開催希望団体は、意見交換会開催希望連絡票（別紙1）を生活衛生課に提出する。
  - ・開催希望日の2か月程度前までに提出する。
  - ・開催時間は、基本的には、サイエンスカフェは2時間、ワークショップは3時間30分程度とする。
  - ・参加人数は20～40人程度とする。
  - ・未定の項目は空欄で提出し、必要に応じて生活衛生課に相談する。
- 2 生活衛生課は、開催希望団体と日程等を調整し、内容を決定する。  
（参加人数が少ない場合は、参加者の公募を検討する。）
- 3 開催の3日前までの参加人数がほぼ決定した時点で、開催希望団体は参加人数を生活衛生課に連絡する。
  - （ワークショップの場合は、参加者からファシリテーターを選定し、グループワーク班編制表（別紙2）により班編成を行う。）

### 開催当日

- 1 開始1時間～30分前から会場設営を開始する。  
（参加者が多い場合や会場が広い場合などには、マイクを使用することが望ましい。）
- 2 開始30分前から参加者の受付を開始する。
  - ・ワークショップの場合、ファシリテーターの打ち合わせを実施する。
  - ・サイエンスカフェの場合、開始までに参加者に飲み物等の提供を行う。

### 準備品について

開催当日に以下の物を準備する。

準備品	数	準備する者
パソコン	1	生活衛生課
プロジェクター	1	生活衛生課もしくは開催希望団体
スクリーン	1	生活衛生課もしくは開催希望団体
延長コード	1	生活衛生課もしくは開催希望団体
マイク	2	開催希望団体（開催場所があれば使用）
ホワイトボード	1	開催希望団体（開催場所があれば使用）
配布資料	参加人数分	生活衛生課
ワークショップの場合 模造紙 カラーマジック 大判ポストイット セロテープ サインペン	グループ数＋ グループ数＋ グループ数＋ グループ数＋ 参加人数分	生活衛生課もしくは開催希望団体 生活衛生課もしくは開催希望団体 生活衛生課もしくは開催希望団体 生活衛生課もしくは開催希望団体 生活衛生課もしくは開催希望団体
サイエンスカフェの場合 茶菓 質問用紙 サインペン セロテープ	参加人数分 参加人数分×3枚程度 参加人数分 1	開催希望団体 生活衛生課もしくは開催希望団体 生活衛生課もしくは開催希望団体 生活衛生課もしくは開催希望団体

(FAX: 083-933-3079、E-mail: a15300@pref.yamaguchi.lg.jp  
TEL: 083-933-2974)

意見交換会開催希望連絡票

団体・機関名	
担当者	
電話、FAX番号	
メールアドレス	

意見交換会の開催希望について

開催日時	第1希望 平成 年 月 日 ( : ~ : ) 第2希望 平成 年 月 日 ( : ~ : ) 第3希望 平成 年 月 日 ( : ~ : )
場所	開催希望施設を記載ください。施設が未定の場合は、市町単位で記載ください。 ( )
テーマ	いずれかを選択ください。 食中毒の予防(ノロウイルス、カンピロバクター、腸管出血性大腸菌、その他( )) 食品添加物、食品中の放射性物質、残留農薬、輸入食品、 遺伝子組換え食品、BSE(牛海綿状脳症)、最近の食に関する話題 一問一答(事前質問に回答)、事業者の自主的な取組(事業者との意見交換) その他( )
形式	いずれかを選択ください。 ワークショップ、サイエンスカフェ、その他( )
参加人数	貴団体・機関からの参加人数を記載ください。 ( 人 ) 参加者の公募について、記載してください。 公募する( 人程度)、公募しない
情報提供者	希望があれば記載ください。 ( )
その他 (要望等)	

## グループワーク班編制表

グループ	ファシリテーター	グループメンバー
A		
B		
C		
D		
E		
F		

・各グループの人数は、5～6人程度が望ましい。

平成 26年度の意見交換会（まとめ）

<平成 26年度の開催結果>

意見交換会の開催回数	14回
参加人数	390人

<意見交換会一覧>

No.	形式	開催日	場所	主たる共催団体	テーマ	参加人数
1	サイエンス カフェ	7月 4日	宇部市	山口県食生活改善推進協議会	輸入食品	67人
2		9月 8日	下関市	山口県地域消費者団体連絡協議会	食品添加物	21人
3		10月 1日	山口市	山口県地域消費者団体連絡協議会	一問一答	13人
4		10月 2日	山口市	山口大学	食中毒予防	30人
5		10月 23日	柳井市	山口県地域消費者団体連絡協議会	食中毒予防	38人
6		10月 24日	山陽小野田市	山口県地域消費者団体連絡協議会	食中毒予防	29人
7		10月 27日	周南市	食の安心モニター 食の安心コミュニティ活動リーダー	食品表示	26人
8		10月 28日	山口市	食の安心モニター 食の安心コミュニティ活動リーダー	食品表示	25人
9		11月 21日	周防大島町	山口県地域消費者団体連絡協議会	食中毒予防	37人
10		12月 11日	防府市	山口県生活協同組合連合会 生活協同組合コープやまぐち	食中毒予防	25人
11		1月 15日	山口市	山口県立大学	食中毒予防	27人
12		2月 2日	宇部市	山口県物産協会	食中毒予防	22人
13		2月 4日	周南市	山口県物産協会	食中毒予防	21人
14	工場見学	1月 20日	山口市	山口県食の安心・安全審議会	事業者との意見交換	9人

<内訳>

形式（回数）	サイエンスカフェ（13回） 工場見学（1回）
開催場所（回数）	下関市（1回） 宇部市（2回） 山陽小野田市（1回） 山口市（5回） 防府市（1回） 周南市（2回） 柳井市（1回） 周防大島町（1回）

<p>主な共催団体（回数）</p>	<p>山口県立大学（1回）  山口大学（1回）  生活協同組合コープやまぐち（1回）  山口県物産協会（2回）  山口県地域消費者団体連絡協議会（5回）  山口県生活協同組合連合会（1回）  山口県食生活改善推進協議会（1回）  食の安心モニター（2回）  山口県食の安心・安全審議会（1回）</p>
<p>テーマ（回数）</p>	<p>食中毒予防（8回）  食品添加物（1回）  輸入食品（1回）  一問一答（事前質問に回答）（1回）  食品表示（2回）  事業者との意見交換（1回）</p>



## 意見交換会事例

No.26-1

形式	サイエンスカフェ形式		
開催日時	平成 26年 7月 4日（金） 11:00~ 12:30		
場所	宇部市保健センター（宇部市琴芝町二丁目 1番 10号）		
共催団体	山口県食生活改善推進協議会、宇部市食生活改善推進協議会		
テーマ	輸入食品について		
情報提供者	厚生労働省 福岡検疫所 食品監視課 課長 <sup>ところ</sup> 眞也		
参加人数	67人	参加者公募	無し
プログラム	11: 00 開会・オリエンテーション 11: 10 情報提供 「輸入食品の安全性の確保について」( 45分) 11: 55 休憩・質問カードの記入( 15分) 12: 10 意見交換( 20分) 12: 30 アンケート記入・閉会		
準備	宇部市食生活改善推進協議会 ・参加者の募集 ・茶菓の準備 ・会場確保 ・備品準備（プロジェクター、スクリーン、マイク）  山口県環境生活部生活衛生課 ・備品準備（パソコン 等）		
参加者の感想 (アンケート結果より)	・きめ細やかな検査がされている事を知り、輸入品に対して少し安心しました。 ・滅多にこういう話は聞きにいけないので、聞くチャンスがあり良かったです。今からの生活に活かしていこうと思います。 ・質問タイムがとても良かったので、もう少し時間をとって欲しいと思いました。		

## 意見交換会事例

No.26-2

形式	サイエンスカフェ形式		
開催日時	平成 25年 9月 8日（月） 10:00~ 12:00		
場所	下関東京第一ホテル（下関市赤間町 6-2）		
共催団体	山口県地域消費者団体連絡協議会、下関市消費者の会		
テーマ	もっと知ってほしい食品添加物のあれこれ		
情報提供者	日本食品添加物協会 常務理事 金子 隆		
参加人数	21人	参加者公募	無し
プログラム	<p>10: 00 開会・オリエンテーション</p> <p>10: 10 情報提供 「もっと知ってほしい食品添加物のあれこれ」( 50分)</p> <p>11: 00 質問カードの記入・休憩 ( 15分)</p> <p>11: 15 意見交換 ( 40分)</p> <p>11: 55 アンケート記入・閉会</p>		
準備	<p>下関市消費者の会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者の募集</li> <li>・茶菓の準備</li> <li>・会場確保</li> <li>・備品準備（マイク）</li> </ul> <p>山口県環境生活部生活衛生課</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・備品準備（パソコン、プロジェクター、スクリーン 等）</li> </ul>		
参加者の感想 (アンケート結果より)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サイエンスカフェ形式はざっくばらんで親しみやすく、サイエンスに弱い女性にとって大変うれしいと感じました。</li> <li>・食品添加物について必要以上に怖がることはないということがよくわかりました。</li> <li>・質問が多く出て、直接回答していただき、内容の濃い交換会だったと思います。</li> </ul>		

## 意見交換会事例

No.26-3

形式	サイエンスカフェ形式		
開催日時	平成 26年 10月 1日（水） 13:30~ 15:30		
場所	山口市男女共同参画センター（山口市中央二丁目 5番 1号）		
共催団体	山口県地域消費者団体連絡協議会、山口消費生活研究会		
テーマ	安全・安心に暮らすために 食品表示についてあなたの疑問にお答えします！		
情報提供者	山口県環境生活部生活衛生課 主査 殿河内 英雄		
参加人数	13人	参加者公募	有り
プログラム	13: 30 開会・オリエンテーション 13: 40 情報提供 「安全・安心に暮らすために 食品表示についてあなたの疑問にお答えします！」（50分） 14: 30 質問カードの記入・休憩（15分） 14: 45 意見交換（40分） 15: 25 アンケート記入・閉会		
準備	山口消費生活研究会 ・参加者の募集、事前質問の受付 ・茶菓の準備 ・会場確保 ・備品準備（マイク）  山口県環境生活部生活衛生課 ・備品準備（パソコン、プロジェクター、スクリーン 等）		
参加者の感想 (アンケート結果より)	・生活に密着した内容で、不安に思っている事について答えていただき大変参考になりました。 ・事前質問を集めていただき、当日も手あげ方式でなく、質問カードで質問を受けていただくなど、参加しやすい形式だと思います。 ・少ない人数でしたが、内容は深く、良かったです。参加した人は、満足だったのではないのでしょうか。		

## 意見交換会事例

No.26-4

形式	サイエンスカフェ形式		
開催日時	平成 26年 10月 2日（木） 14:30~ 15:30		
場所	山口大学（山口市吉田 1677-1）		
共催団体	山口大学		
テーマ	ノロウイルスによる食中毒の予防について		
情報提供者	山口県環境生活部生活衛生課 主査 殿河内 英雄		
参加人数	30人	参加者公募	無し
プログラム	14: 30 開会・オリエンテーション 14: 40 情報提供 「ノロウイルスによる食中毒の予防について」( 30分) 15: 10 質問カードの記入（5分） 15: 15 意見交換（10分） 15: 25 アンケート記入・閉会		
準備	山口大学 ・参加者の募集 ・茶菓の準備 ・会場確保（スクリーン有り） ・備品準備（プロジェクター、マイク）  山口県環境生活部生活衛生課 ・備品準備（パソコン 等）		
参加者の感想 (アンケート結果より)	・ノロウイルスについてはニュースでよく聞くのですが、危ないと知っていてもどういう性質なのか等は知らなかったので知れて良かったです。 ・沢山の質問に答えていただき、ためになることが多かったです。 ・一人暮らしをしていて、調理する際に加熱や消毒をおろそかにしてしまうところがありましたが、今回のお話を聞いて、季節的にも気づけていかなければならないと感じました。		

## 意見交換会事例

No.26-5

形式	サイエンスカフェ形式		
開催日時	平成 26年 10月 23日（木） 13:30~ 15:30		
場所	柳井市文化福祉会館（柳井市柳井 3718）		
共催団体	山口県地域消費者連絡協議会、柳井広域消費生活問題実行委員会		
テーマ	ノロウイルス等の食中毒の予防について		
情報提供者	山口県環境生活部生活衛生課 主査 殿河内 英雄		
参加人数	38人	参加者公募	無し
プログラム	<p>13: 30 開会・オリエンテーション</p> <p>13: 40 情報提供 「ノロウイルス等の食中毒の予防について」( 45分)</p> <p>14: 25 質問カードの記入・休憩（15分）</p> <p>14: 40 意見交換（45分）</p> <p>15: 25 アンケート記入・閉会</p>		
準備	<p>柳井広域消費生活問題実行委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者の募集</li> <li>・茶菓の準備</li> <li>・会場確保</li> <li>・備品準備（プロジェクター、スクリーン、マイク）</li> </ul> <p>山口県環境生活部生活衛生課</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・備品準備（パソコン 等）</li> </ul>		
参加者の感想 (アンケート結果より)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・とてもわかり易くかつみんなが質問しやすいよう進行をして頂いたのが良かったです。</li> <li>・人前では発言しにくいので、このような形式（質問カード）は良かったと思います。</li> <li>・ノロウイルス食中毒の防止対策として、いかに手洗いが大事か勉強になりました。知的障害者グループホームに勤めているのですが、利用者の方に手洗いの大事さを伝えて、予防したいと思います。</li> </ul>		

## 意見交換会事例

No.26-6

形式	サイエンスカフェ形式		
開催日時	平成 26年 10月 24日（金） 13:30~ 15:30		
場所	山陽小野田市文化会館（山陽小野田市大字郡 1754）		
共催団体	山口県地域消費者連絡協議会、山陽小野田市消費者の会、宇部消費者の会、美祢消費者の会		
テーマ	ノロウイルスによる食中毒予防 など		
情報提供者	山口県環境生活部生活衛生課 主査 殿河内 英雄		
参加人数	29人	参加者公募	無し
プログラム	<p>13: 30 開会・オリエンテーション</p> <p>13: 40 情報提供（50分） 「ノロウイルス等の食中毒の予防について」 「身近な質問にお答えします！」</p> <p>14: 30 質問カードの記入・休憩（15分）</p> <p>14: 45 意見交換（40分）</p> <p>15: 25 アンケート記入・閉会</p>		
準備	<p>山陽小野田市消費者の会、宇部消費者の会、美祢消費者の会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者の募集</li> <li>・茶菓の準備</li> <li>・会場確保</li> <li>・備品準備（プロジェクター、スクリーン、マイク）</li> </ul> <p>山口県環境生活部生活衛生課</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・備品準備（パソコン 等）</li> </ul>		
参加者の感想 (アンケート結果より)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サイエンスカフェ？どんな学習法？と思いましたが、体験してみても楽しく勉強でき、こんな方法もあるのかと参考になりました。</li> <li>・カフェ式な和やかさがとても良かった。</li> <li>・普段気にしても、資料を見ることもしないので、こういう機会に改めて考える事ができました。</li> </ul>		

## 意見交換会事例

No.26-7

形式	サイエンスカフェ形式		
開催日時	平成 26年 10月 27日(月) 10:00~ 12:00		
場所	山口県周南総合庁舎 会議室 702(周南市毛利町 2-38)		
共催団体	食の安心モニター、食の安心コミュニティ活動リーダー		
テーマ	食品表示等について		
情報提供者	消費者庁食品表示企画課 中原 繁		
参加人数	25人	参加者公募	無し
プログラム	10: 00 開会・オリエンテーション 10: 10 情報提供 「健康食品について」( 40分) 10: 50 質問カードの記入・休憩( 10分) 11: 00 意見交換( 20分) 11: 30 情報提供 「食品表示制度について」( 20分) 11: 50 質疑応答( 5分) 11: 55 アンケート記入・閉会		
準備	山口県環境生活部生活衛生課 ・参加者の募集 ・会場確保(スクリーン有り) ・備品準備(パソコン、プロジェクター、マイク 等)		
参加者の感想 (アンケート結果より)	・知っているようで、知らなかった。正しい知識を取りいれていなかったことがあるということがわかりました。 ・健康食品は、パッケージ等内容を良く読んで購入しなくてはいけないという事がわかりました。 ・とても勉強になりました。講義とあわせてグループワークがあるといいと思います。		

## 意見交換会事例

No.26-8

形式	サイエンスカフェ形式		
開催日時	平成 26年 10月 28日（火） 10:00~ 12:00		
場所	山口県総合保健会館 第 2研修室 (山口市吉敷下東三丁目 1番 1号 )		
共催団体	食の安心モニター、食の安心コミュニティ活動リーダー		
テーマ	食品表示等について		
情報提供者	消費者庁食品表示企画課 中原 繁		
参加人数	26人	参加者公募	無し
プログラム	10: 00 開会・オリエンテーション 10: 10 情報提供 「健康食品について」( 40分 ) 10: 50 質問カードの記入・休憩 ( 10分 ) 11: 00 意見交換 ( 20分 ) 11: 30 情報提供 「食品表示制度について」( 20分 ) 11: 50 質疑応答 ( 5分 ) 11: 55 アンケート記入・閉会		
準備	山口県環境生活部生活衛生課 ・参加者の募集 ・会場確保 (スクリーン有り) ・備品準備 (パソコン、プロジェクター、マイク 等)		
参加者の感想 (アンケート結果より)	・今日の勉強会はとても良かったです。賢い消費者として、健康食品を正しく摂取することが大切なので、正しく知ることはとても大切だと思います。 ・健康食品、特保についてよくわかりました。主婦の方々に広めたいと思っています。 ・質問できたこと、他の方の質問を聞くことができたこともいろんな意味で良かったです。		



## 意見交換会事例

No.26-9

形式	サイエンスカフェ形式		
開催日時	平成 26年 11月 21日（金） 14:00~ 16:00		
場所	橘総合センター（周防大島町大字西安下庄 445-2）		
共催団体	山口県地域消費者連絡協議会、周防大島町消費者連絡会		
テーマ	ノロウイルスによる食中毒予防等について		
情報提供者	山口県環境生活部生活衛生課 主査 殿河内 英雄		
参加人数	37人	参加者公募	無し
プログラム	14: 00 開会・オリエンテーション 14: 10 情報提供 「ノロウイルス等の食中毒の予防について」( 45分) 14: 55 質問カードの記入・休憩 ( 15分) 15: 10 意見交換 ( 45分) 15: 55 アンケート記入・閉会		
準備	周防大島町消費者連絡会 ・参加者の募集 ・茶菓の準備 ・会場確保 ・備品準備（プロジェクター、スクリーン、マイク）  山口県環境生活部生活衛生課 ・備品準備（パソコン 等）		
参加者の感想 (アンケート結果より)	・知っているつもりでしたが、実は知らないことが多々ありました。度々機会を作ってください。 ・コーヒーを飲みながら気軽に勉強できました。 ・有意義なお話をありがとうございました。食中毒に対する認識を新たにしました。わかりやすくお話いただき今後の生活に役立てたいと思いました。		

## 意見交換会事例

No.26-10

形式	サイエンスカフェ形式		
開催日時	平成 26年 12月 11日（木） 10:00~ 12:00		
場所	コープやまぐち はなまる集会室（防府市仁井令 716-1）		
共催団体	山口県生活協同組合連合会、生活協同組合コープやまぐち		
テーマ	ノロウイルスによる食中毒予防等について		
情報提供者	山口県環境生活部生活衛生課 主査 殿河内 英雄		
参加人数	25人	参加者公募	無し
プログラム	10: 00 開会・オリエンテーション 10: 10 情報提供 「ノロウイルスによる食中毒予防等について」( 45分) 10: 55 質問カードの記入・休憩（15分） 11: 10 意見交換（45分） 11: 55 アンケート記入・閉会		
準備	山口県生活協同組合連合会、生活協同組合コープやまぐち ・参加者の募集 ・茶菓の準備 ・会場確保 ・備品準備  山口県環境生活部生活衛生課 ・備品準備（パソコン、プロジェクター、スクリーン 等）		
参加者の感想 (アンケート結果より)	・テーマ的に固い話になるのかと思っていましたが、お茶とお菓子を食べながら気楽な感じでとても良かったです。 ・質問をカードに記入し、集めてもらえるのが良かったです。挙手では勇気がいるので。 ・わけもわからず「ノロウイルスは怖い」と思うより、知って、予防対策を取ることができるようになった気がします。		

形式	サイエンスカフェ形式		
開催日時	平成 27年 1月 15日（木） 12:00~ 12:40		
場所	山口県立大学 桜翔館 (山口市桜畠三丁目 2番 1号)		
共催団体	山口県立大学		
テーマ	模擬店は危ない！？～食品の疑問に答えます～		
情報提供者	山口県環境生活部生活衛生課 主査 殿河内 英雄		
参加人数	27人	参加者公募	無し
プログラム	<p>12: 00 開会・オリエンテーション  12: 05 情報提供  「模擬店は危ない！？～食品の疑問に答えます～」( 25分)  12: 30 質疑応答( 8分)  12: 38 アンケート記入・閉会</p> <p>(山口県立大学のイベント「学長ランチトーク」での開催)</p>		
準備	<p>山口県立大学</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者の募集</li> <li>・昼食の準備</li> <li>・会場確保</li> <li>・備品準備( プロジェクター、スクリーン、マイク)</li> </ul> <p>山口県環境生活部生活衛生課</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・備品準備( パソコン 等)</li> </ul>		
参加者の感想 (アンケート結果より)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間は短かったですが、食中毒についてなど興味が深まりました。模擬店は学生のイベントの雰囲気が強いので、先輩が後輩にしっかり指導することが重要だと思いました。</li> <li>・食は人にとってかかせない生命維持に必要不可欠なものなので今日学んだことを生かして安全を求めたいと思います。</li> <li>・食品の安全性について専門の方からのお話を聞いてとてもためになりました。</li> </ul>		

## 意見交換会事例

No.26-12

形式	サイエンスカフェ形式		
開催日時	平成 27年 2月 2日(月) 13:00~ 15:00		
場所	山口県産業技術センター 第1研修室 (宇部市あすとぴあ4丁目1番1号)		
共催団体	山口県物産協会		
テーマ	食中毒予防と異物混入防止について		
情報提供者	山口県環境生活部生活衛生課 主査 殿河内 英雄		
参加人数	22人	参加者公募	無し
プログラム	13: 00 開会・オリエンテーション 13: 10 情報提供 「食中毒予防と異物混入防止について」(50分) 14: 00 質問カードの記入・休憩(15分) 14: 15 意見交換(45分) 14: 40 アンケート記入・閉会		
準備	山口県物産協会 ・参加者の募集 ・茶菓の準備  山口県環境生活部生活衛生課 ・会場確保(スクリーン有り) ・備品準備(パソコン、プロジェクター、マイク 等)		
参加者の感想 (アンケート結果より)	・1つ1つの質問に対する解答がすごく丁寧で情報内容もわかりやすかった。 ・他業種の方々が気にされている事もわかり意見の発言もしやすく感じた点が良いです。 ・食の安心・安全は簡単に守られるものではないし、努力をして得るものだと感じました。		

## 意見交換会事例

No.26-13

形式	サイエンスカフェ形式		
開催日時	平成 27年 2月 4日(水) 13:00~ 15:00		
場所	山口県周南総合庁舎 会議室 702(周南市毛利町 2-38)		
共催団体	山口県物産協会		
テーマ	食中毒予防と異物混入防止について		
情報提供者	山口県環境生活部生活衛生課 主査 殿河内 英雄		
参加人数	21人	参加者公募	無し
プログラム	<p>13: 00 開会・オリエンテーション</p> <p>13: 10 情報提供 「食中毒予防と異物混入防止について」( 50分)</p> <p>14: 00 質問カードの記入・休憩( 15分)</p> <p>14: 15 意見交換( 45分)</p> <p>14: 40 アンケート記入・閉会</p>		
準備	<p>山口県物産協会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者の募集</li> <li>・茶菓の準備</li> </ul> <p>山口県環境生活部生活衛生課</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会場確保(スクリーン有り)</li> <li>・備品準備(パソコン、プロジェクター、マイク 等)</li> </ul>		
参加者の感想 (アンケート結果より)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内容的にはほとんどの事が理解している事だと思っておりますが、わかっている事と、それがきちんと行われている事はまた別で、十分気を付けなくてはと、考える機会になり感謝致します。</li> <li>・多数の聴講者でもなく、また、マンツーマンに近い少人数での講義でもなく、プレゼン者との距離感も程々でした。</li> <li>・様々な観点から質問が出て、他の参加者が疑問に感じていることも聞くことができ良かった。</li> </ul>		

意見交換会事例

No.26-14

形式	工場見学		
開催日時	平成 26年 1月 20日（火） 10:00~ 11:40		
場所	株式会社アイエス（山口市阿東生雲西分 2042-5） 業種：菓子製造業 （事業概要 ・食料品の加工及び販売 ・主にドーナツの製造販売 （主なブランド：神戸ドーナツ））		
共催団体	山口県食の安心・安全審議会		
テーマ	山口県高度衛生管理工程認定事業所見学		
参加人数	9人	参加者公募	無し
プログラム	10: 00 会社概要、製品説明 高度衛生管理工程認定制度について説明 10: 50 製造工程見学 11: 20 質疑応答		

山口県高度衛生管理工程認定制度

山口県では「食の安心・安全推進条例」に基づき、食品関連事業者が行う食品の衛生管理の高度化に対する取組を促進するため、食品の製造過程におけるHACCPの考え方を取り入れた「衛生管理基準」を策定し、認定する制度を設けています。



認定マーク

(参考) 意見交換会の写真

サイエンスカフェ



平成 26年 9月 8日 下関市



平成 26年 10月 23日 柳井市



平成 26年 10月 24日 山陽小野田市



平成 26年 12月 11日 防府市



平成 27年 1月 15日 山口市



平成 27年 2月 2日 宇部市